劇団四季

新作ファミリーミュージカル

はじまりの樹の神話

―こそあどの森の物語―

生きるって、つながること。

原作：岡田 淳
「こそあどの森の物語
はじまりの樹の神話」
理論社刊

脚本・歌詞：南 圭一朗
演出：山下純輝
作曲：兼松 衆
音楽監督：清水恵介
振付：松島勇気
装置・パペットデザイン：喜多川知己
照明デザイン：井上登紀子
衣裳・ヘアメイクデザイン：射場茅乃

心に届く、心が動く。劇団四季が新たに贈る壮大なファンタジー

2021年12月9日木

ふくやま芸術文化ホール
リーデンローズ 大ホール

想いを声にすれば、きっと伝わる、つながっていく。

新作オリジナルファミリーミュージカル『はじまりの樹の神話』の原作は、
日本児童文学界を代表する作家・岡田淳による「こそあどの森の物語」シリーズの第6巻。
初巻刊行以来、四半世紀にわたって読み継がれてきた傑作です。
引っ込み思案で自分一人の世界を楽しんでいた少年が、ある出会いを通じて、
誰かの力になることやつながりの大切さに気づいていく、心の成長の物語。
想いを声にすれば、きっと相手に届く。——人と人とのつながりが薄れてきたように感じられる今、
自分の想いを伝え、つながることの大切さが胸に迫ります。
観る人の心を温かく包み、明日を生きる力がわいてくる感動の舞台へ、ぜひ！

ものがたり

木々が生い茂る森の中。家で本を読むのが好きな少年・スキッパーは、自分一人の時間を楽しんで暮らしていました。ある夜、しっぽが光る不思議なホタルギツネに頼まれ、巨大な樹にリュウのいけにえとして縛りつけられた少女・ハシバミを助けることに。大昔から来たというハシバミは森の住人たちと楽しい日々を送りますが、ある日スキッパーに「私は村に戻らなければならない」と告げます。「過去に戻り、逃げずに戦いたい」というハシバミに対して、反対する住人たち。その時スキッパーは——。

社会福祉法人こぶしの村福祉会　運営資金募集チャリティー公演

2021年12月9日(木)

午後6時30分開演（開場45分前）

ふくやま芸術文化ホール

リーデンローズ

入場料（全席指定）＊税込み

	SS席	S席	A席	B席
おとな券	5,500円	4,400円	3,300円	2,200円
こども券（3才～中学生）	4,400円	3,300円	2,200円	1,100円

＊3歳以上有料

●発売日：8月28日（土）10時より

●主 催：社会福祉法人 こぶしの村福祉会

●後 援：福山市・福山市教育委員会・福山市社会福祉協議会
福山文化連盟・中国放送・中国新聞備後本社
エフエムふくやま

●お問い合せ：福山市加茂町下加茂899 こぶしヶ丘学園 ☎(084)972−5811

◎前売り券・ご予約は

電話予約　こぶしヶ丘学園 TEL 084-972-5811

直接購入　こぶしヶ丘学園
リーデンローズチケットセンター

ネット予約　SHIKI ON-LINE TICKET
（24時間受付。ただし、発売日は午前10時より）
●パソコン●スマホ
ヨヤクシヨーヨ 489444

家族でもっと感動を！

「四季の会」に入会しませんか？　お問い合わせ TEL.0570-008-110（ナビダイヤル）

「四季の会」にご入会いただくと、いち早くチケットがご予約いただける
先行予約など、さまざまな特典がございます。　ご入会はこちらから